

遺跡まつり通信

発行 6月5日
酒生まつり推進協議会

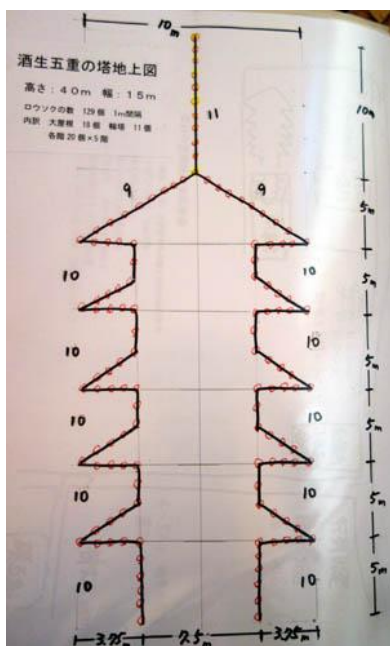
今年の祭りはどこかが違う 五重の塔が復活か??

皆さんがご存知のように、酒生地区には奈良時代に生江氏という人物により、五重の塔が築かれていました。その基礎に使われた石

が、篠尾町のローソンの北側にあります。大きさは、その礎石に彫られた柱の穴の大きさから、奈良の法隆寺のそれと変わらなかったともいわれます。

遺跡まつりでは二つの五重の塔を復元します。一つは、高さが40メートルの地上の塔です。これは、一乗の万灯夜で使われているろうそくを並べて描き出します。皆さんは、その大きさに圧倒されるでしょう。

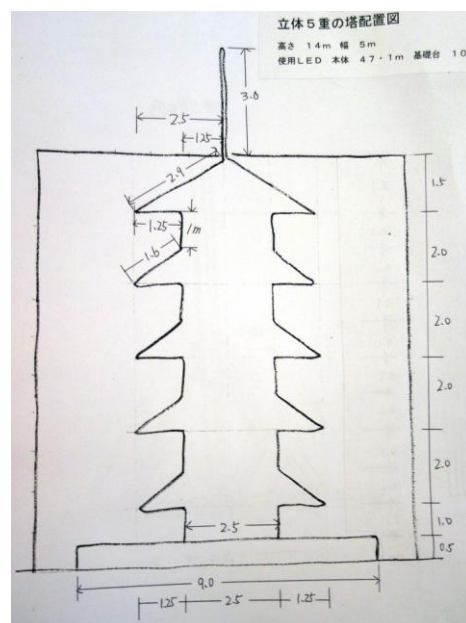
もう一つは、小学校南校舎に描き出す立体の五重の塔です。こちらは、高さが13メートルで、実物の3分の1程度になるはずですが、最新のLEDを使用しますので、美しい立ち姿の五重の塔を見ることが出来るはずです。



本物の五重の塔は作ることが出来ませんが、この立体塔と地上塔を見ながら、皆様方の頭の中で古代にタイムスリップして、現存した古代の五重の塔を組み立ててもらいたいものです。



pixta.jp - 33954359



第21回酒生遺跡まつり

7月21日(土)

15時 屋台村オープン

17時 オープニングセレモニー

19時 ともし火行列、点火式

20時半 閉会

